

平成 24 年度 シラバス	学年・期間・区分	5 年次 ・ 前期 ・ B 群	
	対象学科・専攻	土木工学科	
応 用 測 量 学 (Surveying)	担当教員	西留 清 (Nishidome, Kiyoshi)	
	教員室	都市環境デザイン工学科棟 3 階 (TEL : 42-9119)	
	E-Mail	nisdome@kagoshima-ct.ac.jp	
教育形態／単位の種別／単位数	講義・演習 / 学修単位〔講義Ⅰ〕 / 1 単位		
週あたりの学習時間と回数	〔授業 (100 分) + 自学自習 (80 分)〕 × 15 回		
〔本科目の目標〕 測量学Ⅰに引き続く基礎・応用で、地形測量と写真測量を中心に学習する。地形測量では、地形測量の順序、等高線、面積、体積等の求め方を学び、写真測量では、写真測量の基礎理論と技術を学ぶ。			
〔本科目の位置付け〕 応用測量学の知識や技術は、応用測量学実習で実践される。			
〔学習上の留意点〕 三角測量、トラバース測量、平板測量、オフセット測量、横断・縦断測量等を完全に修得している必要がある。授業要目毎に参考書に掲載されている演習問題や実務事例の紹介を行う。なお、本科目は学修単位〔講義Ⅰ〕科目であるため、指示内容について 80 分程度の自学自習 (予習・復習) が必要である。			
〔授業の内容〕			
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
1. 地形測量	2	☐ 地形測量の順序、地形の現示方法を理解できる。 ☐ 等高線を理解できる。 ☐ 等高線の求め方と等高線の利用を理解できる。 ☐ 面積の計算を理解できる。 ☐ 体積の計算を理解できる。 ☐ 地積の分割を理解できる。 ☐ 境界線の整正を理解できる。 ☐ 地形測量演習を行うことができる。	左の項目について参考書等を使って調べて、概略を理解しておく。
	2		
	2		
	2		
	2		
	2		
	2		
	2		
---前期中間試験---		授業項目 1 について達成度を確認する。	
2. 写真測量	2	☐ 写真測量の概念を理解できる。 ☐ 写真測量の基礎事項を理解できる。 ☐ 実体(ステレオ)写真を理解できる。 ☐ 実体鏡による比高の測定を理解できる。 ☐ 写真判読法を理解できる。 ☐ 写真測量演習を行うことができる。	左の内容について、教科書・参考書等を読んで概要を把握しておく。
	2		
	2		
	2		
	2		
	2		
---前期末試験---		授業項目 2 について達成度を確認する。	
試験答案の返却・解説	2	試験において間違った部分を理解できる。	
〔教科書〕 なし			
〔参考書・補助教材〕 測量学Ⅱ 岡林巧・堤 隆・山田貴浩 コロナ社			
〔成績評価の基準〕 中間試験および期末試験 (80%) + レポート・ノート (20%) - 学習態度 (上限 10%)			
〔本科 (準学士課程) の学習・教育目標との関連〕 3~c			
〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕 1-3			
〔JABEE との関連〕 (d) (2) d)			

[illegible]